

なかつ市議会だより

平成29年
3月議会

「台中市とのサイクリング協定」



中津市は、自転車の利用が盛んな台湾・台中市と「サイクルツーリズム及び観光友好交流の促進に関する協定書」を締結しました。

台中市は中津市と同様に鉄道廃線跡を利用した自転車道によるまちおこしを進めています。

今後、中津市は台中市と連携を図ってサイクルツーリズムを通じた国際交流やインバウンド対策に取り組んでいきます。



お知らせ

「なかつ市議会だより」は横書きで編集をしているため、市民の皆様がより見やすいように、「左開き」としています。ご覧になる際は市報とは別にしてご覧ください。

「なかつ市議会だより」は、中津市ホームページにも掲載しています。
<http://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索

発行／大分県中津市議会

発行年月日／平成29(2017)年5月15日

3月定例会 一般質問

- ◆平成29年3月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(緑色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。

※「なかつ市議会だより」は、左開きにしています。



さがら たかのり
相良 卓紀
(前 進)

①

- ・合併特例債の旧市町村別の発行状況
- ・合併特例債活用事業の合併時の財政計画との違いと理由
- ・合併特例債残りの発行可能額

問 合併時の優遇措置である合併特例債を活用して様々な事業を合併後に実施してきたが、旧市町村別の合併特例債の発行額は。

答 位置的には旧市内であつても全市を対象とした事業もありますが、単純に建設位置で区分した場合は、旧中津市が196億1,280万円、旧三光村が13億9,800万円、旧本耶馬溪町が6億980万円、旧耶馬溪町が13億580万円、旧山国町が11億1,510万円となります。

問 合併時における財政計画とこれまでの発行額の違いとその理由は。

答 合併当初の財政推計では、発行限度額280億4,910万円に対し、平成27年度末で240億4,150万円となり55億円程度上回っていますが、これは発行期限が延長されたためです。

問 今後の合併特例債の発行可能額は。

答 平成29年度末での発行可能額は3億円程度と見込まれます。



みかみ ひでのり
三上 英範
(日本共産党)

②

- ・市民のくらしの中に憲法を
- ・市の長期計画と新年度予算
- ・市の非正規職員のあり方
- ・憲法26条と通学費補助、学校給食無料化、奨学金制度の拡充を

問 コメは生産原価割れなので、米価を下支えする10aで7,500円の交付金の存続を求めるべきでは。

答 今後も国の動向を注視し、中山間地域の農業の振興に取り組みます。

問 伐期にある市有林10万㎡を毎年1万㎡、10ヶ年の伐採計画で地域に仕事起しを。

答 今年度より主伐と利用目的の間伐を併せて実施しており、来年度以降も計画的に実施する予定です。

問 市の正規、非正規職員数は。任用通知書に再任用なしではなく、可能性ありとしているのに、雇止めにするのは、任用権の濫用では。

答 職員数は正規1,142人、非正規821人で、議員指摘の任用については口頭で補足説明をし、さらに法令等に基づき行っており濫用には当たりません。

問 全国62自治体で、子育て支援等から学校給食無料化となっているが、中津市で実施する課題は。

答 毎年約4億円が必要で、財政の圧迫や公平性など課題です。



いまい よしひと
今井 義人
(新生・市民クラブ)

③

- ・認定農業者の育成について
- ・ため池の管理について
- ・ラグビーワールドカップの公認キャンプ地について

問 認定農業者の認定の条件について伺います。

答 中津市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想を基に、経営の規模、生産方式、経営の方法、農業従事の態様等に関する営農の類型ごとの農業経営指標に添った計画により、年間農業所得400万円程度、労働時間1,800時間以内で、中山間地域は260万円以上に設定しています。

問 ため池で漏水の心配がある池の数はどれくらいあるのか伺います。

答 漏水状況は、堤体の劣化状況や老朽度の点検により確認されているため池は58箇所、特に影響の大きい池が7箇所、少ないものが51箇所です。

問 今現在のキャンプ地の受入れ態勢についてはどうなっていますか伺います。

答 キャンプ地登録が決定した際には、官民合同で誘致実行委員会なども立ち上げる計画であり、参加国の視察などに備えた準備と市民周知に努めます。



よしむら なおひさ
吉村 尚久
(新生・市民クラブ)

④

- ・健康寿命の延伸のために
- ・中津をPRし、訪れてもらうための手立てとして
- ・一人ひとりの子どもを大切にするための教職員の働き方

問 水上スキーなどで耶馬溪アクアパークを訪れる大学生から中津を発信してもらってはどうか。

答 学生への情報発信の動機付けとして、発信の多い学生には「広報大賞」を新たに設けたい。

問 成人式でのお祝いの品として市内の宿泊施設や観光地及びスポーツ施設などの割引券を渡し、中津を離れている若者の知り合いなどに中津を訪れてもらう手立てとしてはどうか。

答 割引券なども有効な手段だと思うので課題を整理した上で検討していきたい。

問 教職員の長時間労働の実態をどう捉え、どう改善していこうとしているか。

答 今年2月実施の調査によると平日の1日平均の時間外勤務は1～3時間程度であり、休日の部活動も多忙化の一因と捉えている。勤務実態改善計画の策定、会議の削減や出張の精選、市費による人員配置や県への加配要望も行っていきたい。また、健康診断の充実が課題であると捉えている。

※「なかつ市議会だより」は、左開きをしています。



ちぎら たかゆき
千木良 孝之 ⑤
(新生・市民クラブ)

- ・安心、安全なまちづくり
- ・市民病院の状況と今後
- ・防災対策の取り組みと今後
- ・子育てしやすい環境づくり
- ・待機児童解消に向けた取り組み

問 防災危機管理課の推進状況と今後の取り組みは。
答 防災・減災に対して取り組み、特に平常時から災害初動時を重点的に推進し、自主防災組織の充実強化、防災士の養成、防災訓練・出前講座等を行い地域防災力の強化を図り、情報伝達手段の確保、災害体制の見直し、備蓄の確保、*BCPの策定等にも取り組んでいます。
 今後は、市民が「自分の身は自分で守る」防災意識を持ち、地域で防災訓練等を実施できる防災力向上に取り組み、災害の種類・災害の段階に応じた適切な対応ができる災害対応力の強い体制づくりを目標とと考えています。
問 毎年4月に待機児童はゼロ人、10月の時点で待機児童は70人前後となりますが、対策は。
答 認可保育所・認定こども園の施設整備や認可外保育施設の新規認可等による定員の増により保育の量の確保を行い待機児童の解消を図っています。平成29年4月1日より65人の定員増の予定です。



あらかき ひろこ
荒木 ひろ子 ⑥
(日本共産党)

- ・小学校の遊具の改善予算を
- ・学童保育の待機ゼロへの取り組み、運営体制の強化を
- ・保育所入所待機ゼロの対策を
- ・人権の尊重

問 グラウンドの遊具、体育用具は修理もされず、危険で撤去されたままです。教委で整備予算増額を。
答 遊具の更新経費については、今のところ予算化していません。今後は要望を聞いたうえで検討していきたいと考えています。
問 学童保育に入りたいと希望しても入れないで保護者も運営する方々も大変苦労しています。待機ゼロと運営体制の強化で子育て支援の充実を。
答 児童クラブの待機ゼロ対策としては、2年間で5箇所を新設して定員拡大に努めており、支援員の処遇改善に国・県と同様に取り組み、運営体制を強化します。
問 部落差別解消推進法が強行されました。また、過去の同和対策になるのかと市民が心配しています。市民の人権学習の努力を生かす市政の運営を。
答 「中津市人権を尊重する社会づくり推進条例」を基本に市民の方々には、あらゆる場において互いに人権が尊重される社会づくりを推進します。



すが るみこ
須賀 瑠美子 ⑦
(新生・市民クラブ)

- ・郷土の作家松下竜一について
- ・健康寿命延伸を誇れる中津へ
- ・市民に一目で市の構想が見えるビジョンマップの作成
- ・木村記念美術館にカフェを

問 生涯中津で暮らし生前30巻の文学全集も出版され、愛読者や研究者は全国に居て没後も訪れる人は絶えない。地元作家をどう活かして伝えていくか市長の考えは。
答 松下竜一さんは、郷土中津の地に根を張り、「豆腐屋の四季」など人々の心を引きつける作品を残した作家だと思います。中津が生んだ偉人と同様に松下さんと残された作品を大切にしながら、中津の宝として全国の皆さんに知って頂くことが必要だと思います。
問 市民の健康寿命の現状、疾病傾向、運動の取り組み、運動不足から起る恐怖の病、廃用症候群の啓発を。
答 お達者年齢で言いますと、男女とも県下5位です。疾病傾向として男性は脳卒中、女性は骨折・転倒が多い状況です。元気すこやか体操や週一体操教室等の運動で健康寿命の延伸を図り廃用症候群についても啓発していきます。



おおつか まさとし
大塚 正俊 ⑧
(新生・市民クラブ)

- ・待ったなしの少子化対策
- ・女性の働く場の確保
- ・保育園の待機児童の解消
- ・放課後児童クラブの待機児童の解消

問 若い世代の女性の転出超過の原因は、女性の働く場が少ない、保育園や放課後児童クラブに入れない等の子育て環境の不備が考えられる。女性の働く場の確保として重点的に取り組んでいる施策は。
答 新たな雇用の場を創出し、若者の定住や移住を促進するため、これまで自動車関連産業だけではなく、若い世代の女性や子育て世代の女性の雇用が期待できるコールセンター業や食料品製造業なども視野に入れた誘致活動を行ってきています。
問 年度途中の保育園への入園が厳しいと聞いているが、年度途中の入園に対処できる保育士の事前の確保や保育士の病休、育休を見据えた加配保育士に対する市の補助金の加配の考えは。
答 比較的人材確保が容易な年度当初より独自に保育士を加配している認可保育所もありますが、年度途中に発生する待機児童のための加配部分に対して補助することは、予算的にも高額になるため考えていません。

語句の説明

*BCP(ビー・シー・ピー)とは、事業継続計画(災害や事故など不測の事態を想定して、中核となる事業の継続、あるいは早期復旧を可能とするために対処策をまとめ、準備しておく計画)

※「なかつ市議会だより」は、左開きにしています。



きのした もとのぶ
木ノ下 素信 ⑨
(新生・市民クラブ)

・きめ細やかな対応が必要な子どもと親への支援について

問 子どもの将来が、その生まれ育った家庭の事情で左右されることのないようにする児童虐待、子どもの貧困対策は。

答 関係機関で虐待の未然防止に努める「中津市要保護児童対策地域協議会」を設立し、総合的な窓口として子育て支援課が事務局となり、情報共有と役割分担を明確にし、「顔の見える、切れ目のない支援」に努めています。

問 今後、市の役割が増していくようだが、人員の配分や専門的知識を持つ人材育成は。

答 児童相談所と協力し、事例検討や訪問時の対応演習等、より専門的な研修を行っています。また、子どもの発達が気になる家庭への支援が課題となる今日、保護者等の相談に応じ、子どもの心理診断を行い、保護者、子どもに対しカウンセリング、助言指導等を行う心理士を平成29年度より子育て支援課に配置する予定です。



むらもと こうし
村本 幸次 ⑩
(前 進)

・市営住宅の現況と今後の課題について
・消費者行政の充実、強化について
・かんがい用ため池の維持管理

問 今後の市営住宅棟の建替え棟数と戸数の計画は。

答 平成36年度までに50棟176戸建替え計画を予定し、5年ごとに見直す事としています。

問 最近の新聞に掲載された記事でオレオレ詐欺の内容の事件が多いが、中津市消費者センターに寄せられた相談件数の現状と課題とは。

答 平成28年度の12月末までの相談件数は299件と、昨年同月に比べ46件増加しており、年々増加傾向にあります。消費者被害の未然防止・拡大防止を図るためには、消費者教育を推進するとともに消費者問題に関する啓発を行うことが重要であります。

問 地域にあるかんがい用ため池で、用をなしていないため池を公共工事等で発生した残土を利用し、埋めることで地区の方も幅広く利用したいので、残土捨て場として指定できないか。

答 ため池を埋め立てることにつきましては、下流域までを含んだ周辺の状況や水利権の確認や埋立てに係る諸条件を解決すれば可能であります。



ふる え しん いち
古江 信一 ⑪
(前 進)

・大分県が目指す三つの日本一について

問 大分県が目指す「子育て満足度・健康寿命・障がい者雇用率」の三つの日本一実現に向け、中津市としての対応はどのように考えていますか。

答 「子育て満足度日本一」の実現に向けて、県と連携し、様々な子育て支援に取り組んできました。保育人材確保による待機児童対策、子どもいきいきプレイルームの整備等に取り組み、子育てしやすいまちづくりを進めてまいります。「健康寿命」については、地域住民が自主的に取り組む「元氣いきいき週一体操教室」の立ち上げや、在宅医療の充実のための体制作り、高齢者の活躍の場、働く場を広げる取り組みなどを実施し、元気に暮らし続けられるまちづくりを進めています。「障がい者雇用率」の向上は、障がい者の生活の安定という観点からも重要な施策です。障がい者に対するセミナー、事業者の不安を解消するセミナー、就職面接会等を実施しています。今後は、雇用後の定着を図る施策を検討してまいります。



かわうち やちよ
川内 八千代 ⑫
(日本共産党)

・納められる税金にするために
・教育行政
・子どもの健康を守るため
・憲法を守り市民を守る中津市に

問 税滞納金を払っている市民の給料全額差し押えは生存権侵害ではないか。分納申請や猶予制度など納税者に親切に説明を。職員1人当り1,000人滞納者担当と聞く。職員を増員し親切な対応を。

答 小額分納の場合は、財産を発見次第、法律に基づいて差押を行い、給料以外全額差押が可能です。猶予等は、納付相談をしながら配慮しています。職員の増員は、状況を見ながら考慮してまいります。


問 中学生までの医療費無料化は県内12市町村で実施される。中津市でも早く中学生まで通院無料に。

答 インフルエンザ予防接種助成等の予防医療に努めます。子ども医療費は課題を整理し、国や県の動向等も踏まえ慎重に対応します。

問 中学校の部活動は勝利至上主義でなく、子ども達の自発性や科学性を考慮したものにすべきでは。

答 部活動は学校教育の一環として教育課程との関連性が図られるよう留意し、子どもたちの自主性や自発性が育まれるよう指導することが大切です。


※「なかつ市議会だより」は、左開きになっています。



まつ い やす けい
松井 康之
(新生・市民クラブ) 13

- ・人権施策基本計画見直しにあたっての現状と課題は


問 子どもの貧困といじめは。
答 教育委員会としても、すべての学校で全体構想や年間指導計画を作成し、全教職員の共通理解のもと、組織的に活動を進めるよう指導しているところです。
問 人権施策基本計画見直しにあたっての現状と課題は。障がい者（差別解消法）、医療（ハンセン病）、その他（インターネットによる人権侵害、*LGBTQ）、同和問題（部落差別解消法）
答 部落差別解消推進法は、現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的としており、国及び地方公共団体の責務を定め、相談体制の充実や教育及び啓発の推進などを行うこととしています。



お ずみ とし こ
小住 利子
(公明党) 14

- ・胃がんリスク検査の導入について
- ・市のオリジナル婚姻届・出生届に市民の反応はどうか


問 ピロリ菌検査の助成への、これまでの質問に対して、前向きにご検討頂き、胃がんリスク検査の導入をして頂きました。検査の具体的な実施内容はどのようになっていますか。
答 平成29年4月から開始し、対象者は40歳から75歳までは5歳刻みの年齢の方、76歳以上は全員です。対象者には4月から5月にかけて個別通知の予定です。自己負担は、40歳から65歳までは1,000円を負担して頂き、70歳以上の方は無料です。
問 平成27年9月議会の一般質問で、心に残る市民サービスとして作成して頂きました中津市オリジナル婚姻届、出生届を受付られた時の皆さんの反応はいかがでしたか。
答 市民の方が窓口で婚姻届の用紙を取りに来られた際には、オリジナル様式と旧様式の両方を提示し、選択をしていただいておりますが、オリジナル様式は大変喜ばれています。



おく やま ひろ こ
奥山 裕子
(新生・市民クラブ) 15

- ・地域包括ケアシステムに向けて
- ・生活支援コーディネーターの今後の取り組み
- ・生活支援の担い手としてみんなで育ち合う地域づくりの考え

問 今後、地域を繋ぐ役目としての*第2層の生活支援コーディネーターの内容と各校区の公民館に配置できると良いと思うのですが市の考えは。
答 *第1層の生活支援コーディネーターの活動により住民型有償サービスを2ヶ所立ち上げるなど成果を出しています。今後、第2層のコーディネーターを市全域校区ごとに配置し高齢者の拠点づくりやボランティア等の社会資源の開発に力を入れていきます。先ずは平成29年度に沖代、南部、山国に1名ずつ配置しますが、初年度は研修を主に行います。設置場所は公民館も含めて検討します。
問 生活支援の担い手として市民みんなで育ち合う地域づくり人づくりが大事と思うが市の考えは。
答 職員は情報を市民と共有し福祉部門に限らず地域の活動、伝統行事、イベント等、地域をリードする担い手となる市民を探す努力を続けると共に、各種団体と一緒に担い手となって頂けるよう地域活動への参加要請を引き続き行います。



つね が しん た ろ う
恒賀 慎太郎
(敬天親和会) 16

- ・住みやすい町中津をめざしてLED街灯設置基準は
- ・取替に係る計画説明は誰に
- ・下水工事中の安全管理を

問 夜間、車道、歩道が暗いとの声が多いがLED街灯設置の基準は。
答 街灯については、国道、県道、市道等に設置された電柱等に概ね50m間隔で設置しています。
問 LED取替方針は全自治委員に説明したのか。
答 全自治委員に対し、説明を行っています。
問 県へ右折帯付交差点に右折信号の設置要望を。
答 大分県公安委員会へ要望を行います。地元から直接要望することも効果的ですので、是非要望を行っていただきたい。
問 下水工事中の道路の安全管理を。
答 今後は、施工計画書を受け取る際に、下水道本管施工時の安全対策だけでなく取付管及び個人敷地の汚水枳施工時についても記載するように指導し、施工計画書に沿った対策がされているか現場管理・指導を徹底します。なお、市の各事業課に対し、公共工事中の注意喚起に関する文書を発信し、職員の事故防止への意識を高めます。

語句の説明

*LGBTQとは、L: レズビアン（女性同性愛者）、G: ゲイ（男性同性愛者）、B: バイセクシャル（両性愛者）、T: トランスジェンダー（心の性と身体の性が一致しない人、性同一性障害の人）、Q: ジェンダークエア（自分の性がわからない人）
 *第1層生活支援コーディネーターとは、市全体で生活支援サービスを取りまとめる人。
 *第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区（小地域）ごとに設置をし、生活支援サービスを取りまとめる人。

※「なかつ市議会だより」は、左開きにしています。



山影 智一 (敬天親和会) 17

- ・小祝から吉富町への橋 (小祝鍋島線)
- ・相撲場の整備状況
- ・防犯カメラの設置
- ・東京オリンピック、パラリンピック、ワールドカップへの取り組み

問 小祝鍋島線、小祝から吉富町への橋の建設実現について、13～14年前の竜王橋完成のパンフレットには、当然、吉富町に向けたこの橋の建設による経済効果がより一層期待されると記載されていますが、今策定中の20年スパンの中津市都市計画マスタープランには、橋の建設に向けた具体的な記載がありません。市独自で費用対効果を調査し、福岡・大分県、吉富町に強く要望すべきです。

答 平成28年6月に一部の計画を変更した「九州周防灘地域定住自立圏共生ビジョン」では圏域の一体的な発展を目指すために、広域的な交通ネットワークの整備促進等の取り組みとして、都市計画道路をはじめとした幹線道路の整備促進を掲げています。都市計画道路小祝鍋島線の吉富町への渡河橋については、大分県と福岡県とで調整をしながら整備を行っていく予定であります。中津市としても重要な道路の一つと考え、大分県と連携をして取り組みを進めています。



藤野 英司 (前 進) 18

- ・し尿処理場建替えに伴う地区支援策におけるアクセス道路の今後の取り組み
- ・街灯等のLED化事業の今後の取り組み
- ・学校の体育用具等の安全性の点検

問 山ノ中小平線の供用開始時期と信号機の設置は。答 山ノ中小平線の供用開始は、平成29年8月中旬頃の予定です。信号機の設置につきましては、供用開始後実際の交通量と調査確認をし検討していきます。

問 北原稲男線、犬丸北原福島洞ノ上線の今後の取り組みは。

答 し尿処理場に直接接続する市道の整備が完了間近ですので今後地元と協議し優先順位、財政状況を踏まえ調整し計画していきます。

問 街灯のLED化事業のスピード化を。

答 LED化が後年度に集中しない様に、平成29年度に入ってからの状況を注意深く見ながら、今後の交換要件の見直しを考えます。

問 学校の体育用具、遊具の事故防止に向けた今後の取り組みは。

答 定期的な点検と早期改善に努めてまいります。



松葉 民雄 (公明党) 19

- ・過疎対策について
- ・第五次中津市総合計画案について (移住定住・生活排水処理施設・水道・農業・畜産・林業)
- ・健康寿命対策について

問 市のホームページの集落別世帯数と人口を見ると5世帯を切る地域があります。今後の集落ゼロ世帯地域が増えるのではないのでしょうか。過疎地域は、今後5年先10年先はどうなるのか心配でなりません。そこで、過疎地域の人口減少の現状と対策についてお伺いします。

答 旧下毛地域において、5世帯以下の集落は本耶馬溪17集落、耶馬溪5集落、山国10集落、合計32集落あり、70歳以上の高齢者が50%以上を占める小規模集落は16集落で50%に達しています。こうした集落は、集落支援員や地域おこし協力隊、来年度の新規事業である田舎困りごとサポート事業等で支援しても世帯数がゼロになる恐れがあります。集落に人がいなくなることで、空き家になり、敷地や農地の荒廃等による環境の悪化や防災、防犯上等の問題が発生することも危惧され、集落の状況によって、周辺部の集落へ影響を及ぼすのか、集落の状況に応じて適切な対応を行います。



高野 良信 (前 進) 20

- ・防災について
- ・ふるさと大分Uターンについて
- ・有機農業について
- ・遊具対策について

問 防災について、日本赤十字社大分県支部が2月5日に下宮永集会所において開催したセミナーとは、どのようなものなのか。また、日赤では他にもこのような活動を行っているか。

答 災害時のボランティア活動の知識と技術の習得を目的として開催されたものです。また、日赤では県内各地域を巡回し、災害時や日常でも役立つ講習会等を行っております。内容は、救急法講習、水上安全法講習、災害時高齢者支援講習、幼児安全法講習等になります。

問 各小学校遊具の更新についての考え方は。

答 点検結果報告に基づき補修が必要なものについては、安全性が保たれている間は補修で対応したいと考えています。また、使用禁止及び撤去した遊具については、学校からも更新、再設置の要望があるものもあり、学校と協議を重ね必要な遊具の更新は行っていく考えです。

※「なかつ市議会だより」は、左開きをしています。



なかにし のぶ ゆき
中西 伸之 (21)
(緑水会)

- ・中山間地域の農業振興について
- ・有害鳥獣対策について

問 農家支援については。

答 日本型直接支払制度等各種政策支援を活用し、集落支援を行いながら構造改革を進めます。

問 条件不利地域の基盤整備は。

答 地元と十分協議をして、中山間地域直接支払制度や原材料支給などで対応していきたいと思います。

問 担い手育成については。

答 農業公社の活動を中山間地域全域に広げること、地域の担い手と連携した経営体系を推進します。

問 農地中間管理機構の取り組みは。

答 担い手への農地集積を進める上で、生産性の高い効率的な農地利用が可能となるよう取り組みを進めます。



すみ よし おみ
角 祥臣 (22)
(前 進)

- ・本耶馬溪町折元地区の横断歩道の新設について
- ・観光事業の検証と活用は
- ・ダイハツ九州アリーナ内の床板の剥離について

問 折元地区から歩道に行く場合は必ず道路を横断する必要があり、交通量が多く非常に危険な状況です。この対策をどのように考えているのか。

答 中津土木事務所が進めている工事に合わせ、歩道の切り下げ、横断歩道の新設ができないか土木事務所及び公安委員会と協議を行います。

問 イベント等で配布する市内施設割引券などの事業検証は行っているのか。また、観光事業に施設利用などのデータ収集と分析が必要ではないか。

答 事業検証は行っています。データ収集については、民間事業者の協力を得て精度を高めていくと共に、分析結果を協力者等に活用してもらい、観光消費の拡大に繋げていきたいと考えています。

問 床材の剥離によって負傷事故が国内で発生しているが、この体育施設の今後の対策はどうするのか。

答 ダイハツ九州アリーナは、他の施設に比べ利用率が高く劣化の要因になっており、今後も安全性を確保し応急的な対処と計画的な施設改修に努めます。



はやし ひで あき
林 秀明 (23)
(前 進)

- ・山国町ランドデザイン
- ・「赤ちゃんの駅」早期実現
- ・雇用と育成（福祉用具と設置業者）の今後
- ・持続可能な財政健全化に向け

問 今あるものを大切に新企画案①スケート女子会（一泊二食・スケート・自転車・温泉入り放題1万円コース）と新整氷車お披露目時プロスケーターを呼ぼう。②かかしが歩きます。太宰府天満宮・福岡市役所前公園でPRを。③万葉の里短歌文学コンクール審査員に大人気俳人の夏井いつき先生を。

答 ①スケート女子会は面白いと思えます。観光協会等を通じて旅行代理店に働きかけます。②かかしは期間外の利活用はなく、移住・就労等PRイベントに可能時活用します。③地元の地道なイベントをもち上げる効果はあり今後の参考にします。

問 赤ちゃんの喜ぶ顔が見たい、進捗状況は。

答 平成29年開始に向け所要の手続きを進めます。

問 市内登録業者の利用率が伸びていない福祉関連業者に研修会をし受講証明書を発行する考えは。

答 市内業者は大切であり、今後も関係機関への働きかけの取り組みや、業者の営業努力等により利用の拡大を図っていきたくと考えています。



こもり みちとし
古森 三千年 (24)
(敬天親和会)

- ・街路の植木について
- ・学校給食について
- ・放課後児童クラブについて
- ・消防団員について

問 街路の植木の管理方法は。

答 道路課が年1回の剪定を業者に委託。嘱託職員が道路パトロールや職員が目視により確認をし、状態の悪いものは安全のため伐採しています。

問 給食の残菜の処理は。

答 第一調理場は、機械で絞り乾燥させ廃棄、その他の調理場は、設置している生ごみ処理機で堆肥化し小学校などに配布しています。

問 放課後児童クラブ開設希望者への説明手順は。

答 校区の状況等、放課後児童クラブ事業の全体概要や必要書類、開設に向けたスケジュールを説明します。今後は手順書等を作成し、職員に周知徹底します。

問 女性消防団員数と活動内容は。

答 2月末時点で25人です。活動内容は、緊急通報システム設置の一人暮らし高齢者宅の見守り活動及び防火診断の実施、春・秋の火災予防運動時の防火チラシ等の配付、消防出初式等を行っています。

3月議会で決まった内容

平成29年第1回定例会は、2月22日から3月24日までの31日間にわたり開催されました。内容としては予算関係議案27件、条例関係議案20件、その他の議案6件、計53件を可決し、人事案件14件を同意、異議ない旨答申しました。意見書2件を原案通り決定しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。)

補正予算

- ◆平成28年度中津市一般会計補正予算(第5号)
 - *ふるさとなかつ応援基金積立金の増額
 - *防犯対策を目的とし施設整備を行う介護サービス事業者に対して助成する経費
- ◆平成28年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
- ◆平成28年度中津市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ◆平成28年度中津市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆平成28年度中津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆平成28年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆平成28年度中津市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆平成28年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆平成28年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆平成28年度中津市中津駅北土地地区画整理清算事業特別会計補正予算(第1号)
- ◆平成28年度中津市病院事業会計補正予算(第3号)
 - *入院収益及び材料費の増などによる補正
- ◆平成28年度中津市水道事業会計補正予算(第1号)

条例

- ◆行政組織の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- ◆中津市堆肥センターやまくにの設置及び管理に関する条例の制定について
 - *大分県から譲与される堆肥化施設を本市の公の施設として設置し、及び管理を行うための条例制定
- ◆中津市自殺対策連絡協議会設置条例の制定について
 - *自殺対策計画の作成に際し、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づく審議、調査等を行う附属機関を設置するための条例制定
- ◆中津市長寿祝金条例の制定について
 - *敬老祝金の見直しをすることにより、財源を確保し、もって高齢者福祉の増進及び更なる充実化等を図るための条例制定
- ◆中津市税条例等の一部改正について
- ◆中津市工場立地法準則条例の一部改正について
- ◆中津市奥耶馬溪憩の森の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- ◆中津市体育施設条例及び中津市自転車利用者のモデル施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - *耶馬溪サイクリングターミナルの利用促進や経営改善等に努めるための条例改正
- ◆中津市手数料条例の一部改正について
 - *建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴い、認定審査を行う手数料を定めるための条例改正

報告

- ◆平成28年度中津市土地開発公社事業計画補正並びに収入支出補正予算（第1号）の報告について
- ◆平成29年度中津市土地開発公社事業計画並びに収入支出予算の報告について
- ◆専決処分報告について（訴えの提起に関する専決処分について）
- ◆専決処分報告について（和解及び損害賠償の額の決定）

意見書

- ◆チーム学校運営の推進等に関する法律の早期制定を求める意見書
 - ◆小児医療体制の充実と子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書
- 以上2件の意見書は原案通り決定し、関係機関へ提出しました。

その他

- ◆第五次中津市総合計画基本構想について
- ◆公の施設の指定管理者の指定について
- ◆訴えの提起について
- ◆市道の路線廃止について
- ◆市道の路線認定について
- ◆損害賠償の額を定めることについて

自由討議

- ◆サイクリングロードを活用した更なる可能性（補足説明者：古江議員）
 - ◆過疎地域を元気にするために（補足説明者：中村副議長）
- 以上2件について自由討議が行われました。

人事

◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任

- | | | | |
|-------|------|--------|---------|
| いまよし | たつお | 氏（68歳） | （三光） |
| 今吉 | 立夫 | | |
| きさき | けんいち | 氏（67歳） | （三光） |
| 木崎 | 憲一 | | |
| かわはる | かよこ | 氏（68歳） | （本耶馬溪町） |
| 川原 | カヨ子 | | |
| えんにゆう | つねよし | 氏（62歳） | （本耶馬溪町） |
| 遠入 | 常義 | | |
| まさき | つとむ | 氏（68歳） | （耶馬溪町） |
| 柁木 | 勉 | | |
| まつさき | やすひこ | 氏（64歳） | （耶馬溪町） |
| 松崎 | 泰彦 | | |
| きのした | ひさお | 氏（66歳） | （山国町） |
| 木下 | 久夫 | | |
| しげや | よしあき | 氏（63歳） | （山国町） |
| 渋谷 | 禎昭 | | |

◆人権擁護委員候補者の推薦

- | | | | |
|------|------|--------|---------|
| しまだ | よしあき | 氏（67歳） | （大字島田） |
| 嶋田 | 義明 | | |
| ともまつ | たけこ | 氏（72歳） | （大字定留） |
| 友松 | 丈子 | | |
| ふかみず | きよみ | 氏（63歳） | （本耶馬溪町） |
| 深水 | 清美 | | |
| ひらい | みえ | 氏（62歳） | （山国町） |
| 平井 | 三恵 | | |

◆中津市副市長の選任

- | | | | |
|-----|------|--------|--------|
| まえだ | よしたけ | 氏（59歳） | （大字田尻） |
| 前田 | 良猛 | | |

◆中津市教育長の任命

- | | | | |
|------|-----|--------|-------|
| ひろはた | いさお | 氏（65歳） | （蛭子町） |
| 廣畑 | 功 | | |

*（ ）内の年齢は議案提出時の年齢



[メイプル耶馬サイクリングロード]

417億6,066万9千円

前年比

1億1,590万円 (0.3%) 増

主要事業としては以下の通りです。



総務費

◆田舎困りごとサポート事業 (各支所)

* 独居老人宅への安否確認や日常生活での困りごとに対する支援等を行う田舎困りごとサポート事業に係る経費



[田舎困りごとサポート]

◆コンビニ交付サービス事業

* 住民票の写しや印鑑登録証明書、課税証明書等の各種諸証明のコンビニ交付に必要なシステムの構築に係る経費

◆防災情報発信事業 (防災設備管理事業・情報管理事業)

* スマートフォンやケーブルテレビを利用した災害情報伝達・配信システムの導入に係る経費

* 防災に関する独自のポータルサイトの作成に係る経費



[防災・災害情報伝達手段のフロー図]

民生費

◆子どもいきいきプレイルーム整備事業

* 雨の日でも遊べる子どもいきいきプレイルームを設置する経費

◆ダイハツ九州スポーツパーク大貞大型遊具整備事業

* ダイハツ九州スポーツパーク大貞に大型遊具を設置する経費



[ダイハツ九州スポーツパーク大貞に現在整備している遊具]

衛生費

◆子どものインフルエンザ予防接種助成事業

* 未就学児から中学生までを対象にインフルエンザ予防接種を助成する経費



中津市一般会計予算

農林水産費

◆果樹振興対策補助金

* 果樹農家への農業機械、施設の導入に対する費用の一部を助成する経費

◆水産物ブランド化・販路拡大事業補助金

* 中津特産のカキ、アサリ、ハモ等の水産物ブランド化及び販路拡大に係る経費



[中津干潟で養殖したカキ「ひがた美人」]

商工費

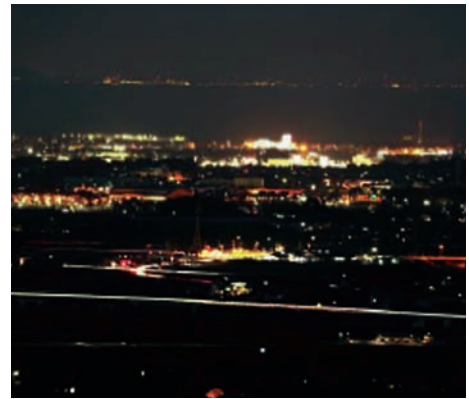
◆商店街空き店舗活用事業補助金

* 商店街の空き店舗を活用する新規出店者に対し、空き店舗の改修に要する費用の一部を助成する経費

◆八面山観光振興事業・八面山振興施設整備事業

* 日本夜景遺産に認定された八面山の観光施設整備等に係る経費

◆メイプル耶馬サイクリングロード活性化事業



[八面山の夜景]

土木費

◆下池永西大新田線外1線道路改良事業

* 県道中津高田線と市民病院を結ぶ下池永西大新田線など道路改良に係る経費

教育費

◆地域協育振興プラン推進事業

* 学校、家庭、地域の協働による子育てを活性化し、地域ぐるみで子どもを見守り育む「地域協育振興プラン推進事業」に係る経費

◆職人フェスティバル事業

* 児童生徒に対しキャリア教育・職場体験を目的とした「職人フェスティバル」の開催に係る経費の補助



[職人フェスティバル2016パンフレット]

◆賛否の分かれた議案

- [議題1号] 平成28年度中津市一般会計補正予算（第5号）
- [議題13号] 平成29年度中津市一般会計予算
- [議題14号] 平成29年度中津市国民健康保険事業特別会計予算
- [議題18号] 平成29年度中津市介護保険事業特別会計予算
- [議題21号] 平成29年度中津市後期高齢者医療特別会計予算
- [議題30号] 中津市長寿祝金条例の制定について
- [議題31号] 中津市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	新生・市民クラブ							前進					敬天親和会			日本共産党		公明党		緑水会						
		今井 義人	須賀 瑠美子	奥山 裕子	松井 康之	吉村 尚久	大塚 正俊	木ノ下 素信	千木良 孝之	草野 修一	村本 幸次	角 祥臣	藤野 英司	高野 良信	相良 卓紀	古江 信一	林 秀明	山影 智一	古森 三千年	恒賀 慎太郎	中村 詔治	荒木 ひろ子	川内 八千代	三上 英範	松葉 民雄	小住 利子	中西 伸之
議題1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題13号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題14号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題18号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題21号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題30号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
議題31号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

※ 上記以外の議案（請願、意見書・決議・修正案等の議員提出議案を除く）については、全会一致で原案可決、同意する、異議ない旨答申となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。

3月24日 定例市議会にて決まった 議会新人事

議員定数等調査特別委員会(9名)

議員定数等調査に関する事項。

- 委員長 今井 義人（新生・市民クラブ）
- 副委員長 相良 卓紀（前進）
- 委員 須賀 瑠美子（新生・市民クラブ） 荒木 ひろ子（日本共産党）
- 中村 詔治（敬天親和会） 古江 信一（前進）
- 松葉 民雄（公明党） 林 秀明（前進）
- 千木良 孝之（新生・市民クラブ）

虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

- お中元 ●初盆等のお供え ●雪中見舞い状
- お祭りへの寄附 ●お歳暮 ●年賀状 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

★インターネット議会放映(録画)は、いつでも視聴できます。

本会議の映像をパソコンやスマートフォンよりインターネット上でご覧いただけます。

ライブ配信（生中継）と録画配信で、録画配信には、見たい映像を日付や議員名等から検索できる機能をつけています。

インターネット放映は

中津市議会HP

中津市 議会中継

最新の録画を見る



[QRコード]

よりご覧ください。

各議員の一般質問、代表質問、議案質疑の内容につきましては、市議会日程の該当日の約2日前に市議会ホームページでお知らせいたします。

平成29年第2回定例会の予定

6月	1日(木)	本会議(会期・議案上程)
	12日(月)	本会議「議案質疑」
	13日(火)	常任委員会
	14日(水)	
	19日(月)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決」
	21日(水)	本会議
	22日(木)	「一般質問」 (4日間)
	23日(金)	
	26日(月)	自由討論
	28日(水)	
30日(金)	本会議(最終日)	

★あなたも、議会を傍聴してみませんか。

本会議の傍聴は、事前の申し込みがなくてもいつでもできます。また、委員会は委員長の許可を得て、傍聴できます。一般質問は、議会ホームページのライブ、録画放映、ケーブルテレビの放映、図書館でのDVD貸し出しでご覧いただけます。本会議の議事録は、議会事務局・図書館でご覧になることができます。また、ホームページ上でも閲覧できます。ご自由にご利用ください。

お知らせ

「なかつ市議会だより」は横書きで編集をしているため、市民の皆様がより見やすいように、「左開き」としています。

ご覧になる際は市報とは別にしてご覧ください。